

青木村民俗資料館のご案内

この資料館は、ちょっと前の青木村の生活や文化をしのぶことができる農具や民具、乗り物や遊び道具などを、村民や青木村出身の皆様から寄贈いただき、展示・保管しています。

開館にあたり、テーマを「昭和の時代」にしました。戦争があって多くの犠牲者をだした昭和の20年が過ぎ、敗戦の中から立ち上がり、昭和30年代には高度成長期を迎え、青木村でもテレビや冷蔵庫、洗濯機など「三種の神器」と呼ばれた大革新の時代を迎え、農業も馬や牛や人力からトラクターや脱穀機などへの機械化が進み、お勝手も炭や薪からガスや石油へ、交通もバスやリヤカーからバスや自動車の時代を迎えました。

昭和という時代は、古くからの伝統的な生活を大きく変えてしまった時代ともいえます。しかも、何事も使い捨ての時代になって、かつての居間の主役であったラジオやシンなどもいつのまにか姿を消してしまいました。

平成25年にこの資料館はオープンしましたが、完成ではありません。多くの村民の皆様や昭和の時代を大切に思ってくださいる皆様のご協力を得て、さらに充実させていきたいと考えています。

この民俗資料館の役割は、昭和という時代を、この時代に使った日用品などを通して見直し、あの忌まわしい戦争を二度と起こさないことを誓い、急速な機械化のなかで失ってしまった大切なものを思い出し子供や孫に語り聞かせる場にあることです。どうぞご家族でご覧いただき、会話がはずむ空間にいただき、青木村の絆を強くする場になってもらえたらこんなにうれしいことはありません。



青木村民俗資料館

Aoki village folk museum

◆開館時間

午前9時30分～午後6時(平日)/午前9時30分～午後5時30分(土日)

◆休館日

毎週月曜日・祝祭日(祝祭日が月曜日の場合は翌日の火曜日も休館)
毎月末日・年末年始

◆入館料 無料(図書館からお入りください。)

◆駐車場 図書館の駐車場をご利用ください(20台)。

青木村民俗資料館

〒386-1601 長野県小県郡青木村大字田沢3270

TEL.0268-49-2224 Fax.0268-49-3890

E-mail: kyouiku@vill.aoki.nagano.jp

「昭和館」——古き懐かしき昭和の時代を今に



青木村民俗資料館のご案内

民俗資料館はテーマを昭和の時代、東京オリンピックが開かれた頃に設定して、映画「三丁目の夕日」でも走っていた軽三輪自動車や、初期のブラウン管テレビ、農具や民具を展示しています。
若い時使っていた方、子どもの頃、親が使用するのを見た方が懐かしみ、また初めて見る方に「この使い方はね。こんな風だったのよ。」と話して会話が弾むような資料館です。

視聴覚
コーナー



電話機



計算機!?



生活道具
コーナー



居間
コーナー



遊ぶ学ぶ
コーナー



ブリキの車



昭和30年代、大八車、マツダのオート三輪、バイク、自転車、リヤカー

掃除機



おもちゃ
コーナー



昭和2年にアメリカから青木中学校にやってきました。パスポート、手紙付きの大変貴重な人形です。



写真
コーナー



農林業
コーナー



大のこぎり、斧、藁口、馬鍬、千歯こき、精米機、糶摺り機など



お勝手
コーナー



粉ミルクの缶

カメラ
コーナー



時代を写してきたカメラたち